

短
歌

同志社女子大学
卒業生に贈る歌八首

田中順二



こぶしの花また咲き匂ふ学び舎に四とせの月
日悔いなしや否

幾十年のちも思はむか栄光館ジエームス館の
古き椅子また机

いつの日の何講時ぞあはれよく眠る友よく笑
ふ友のありしか

思ひ出づる夜半もあらむか今出川の歩道の上
に立つ春埃

世の移りいかにありとも同志社の友垣よ常た
づさひゆかむ

花のごと匂ふのみならずかぐはしく清くいさ
ぎよきをみなとならむ

塵の世といはばいへ清き同志社のをみなごこ
ろをわれは頼まむ

俗中にひそめる真を求めむは難しともあに努
めざらめや